

キャラクター名 カウベル・タム・マリンバ	プレイヤー名
-------------------------	--------

種族	グラスランナー	種族特徴	マナ不干渉、虫や植物との意思疎通		
生まれ	軽戦士	性別	男	年齢	40
冒険者Lv	14	経歴	家族に冒険者がいる いた		
経験点	9780		奇妙な予言をされたことがある 役に立たない知識を持っている		

技	13	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	8	10		31	5	フェンサー	14		
体	1	敏捷度	12	11		36	6	スカウト	10		
		筋力	4	15		20	3	レンジャー	10		
心	11	生命力	14	4		19	3	セージ	5		
		知力	3	2		16	2	エンハンサー	7		
		精神力	11	4		26	4	アルケミスト	4		

戦闘特技			
トレジャーハント	2120p	防具習熟A/非金属鎧	IB31 p
ファストアクション	2123p	武器習熟A/ソード	IB31 p
影走り	2120p	武器習熟S/ソード	IB31 p
治癒適正	2122p		p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
鋭い目	2120p		p
両手利き	IB32 p		p
二刀流	IB30 p		p
回避行動	IB29 p		p
命中強化	IB32 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
ドレイク語	○	
汎用蛮族語	○	
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
妖精語	○	
グラスランナー語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術		
ガゼルフット		
キャッツアイ		
マッスルベアー		
オウルビジョン		
デーモンフィンガー		
ケンタウロスレッグ		
ジャイアントアーム		
クリティカルレイ		
ヴォーパルウェポン		
パラライズミスト		
インスタントウェポン		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	14	19	20	17
シューター	0			

鎧と盾	必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧 アラミドコート		5	1	2
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				2 1
回避技能	フェンサー	合計値		23 4

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ピアシング	1H	4		2d+ 21	9	20	14										
ピアシング	1H	4		2d+ 21	9	20	14										
レイピア	1H	8		2d+ 21	9	20	8										
レイピア	1H	8		2d+ 21	9	20	8										
フリッサ	1H	8		2d+ 21	9	20	13										
フリッサ	1H	8		2d+ 21	9	20	13										
ショートソード	1H	5		2d+ 21	9	20	5										
ショートソード	1H	5		2d+ 21	9	20	5										

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	38 m	114 m	2d+ 23	4	63

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 7	2d+ 16	2d+ 17	2d+ 19	0

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳 ウサギのピアス	聞き耳判定+2
顔 猟犬の鼻	足跡追跡+2
首 幸運のお守り	はざ取り判定+1
背中 野伏の姿隠しのマント	1日1回隠密+4 主動作、全力通常移動で消滅
右手 信念のリング	精神抵抗判定+1
腰 多機能ブラックベルト	防護点+1
足 サイレントシューズ	隠密+2
その他アルケミーキット	アルケミスト用

装備品	説明
迷彩ローブ	屋外隠密・尾行+2
左手 キングローバーの指輪	解除判定+1
勇者の証:体	AW131参照

その他メモ	自動失敗チェック
かっこいいキャラシート : http://totora.jpn.org/sw2/sheet/40223	□□□□⑤
一般技能 : 絵具師3、発明家3	□□□□⑩
偶然出会った冒険者と“きょうだい”認定する程仲良くなれる程度の性格の持ち主。	□□□□⑮
生まれたときからお気楽極楽で、絵も描けないのに絵具を作ったり、生活に困ってる訳でもないのに発明をしたり、と楽しく暮らしていた。	□□□□⑳
元々冒険者になるつもりはさらさらなかったが、ある日、グラスランナー達がいつも親しんでいる虫たちの声が伝えたのは	□□□□㉕
「あなたの“きょうだい”が所属するギルドで、“きょうだい”が大変な目にあわされるわ」	□□□□㉙
という、彼にとっての一大事であった。彼は、その“きょうだい”の危機を救うために	□□□□㉚
	□□□□㉜
	□□□□㉝

